

国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙, 目次, 中扉, 奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-03-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002642

国立国語研究所
共同研究報告 12-08

ISSN 2185-0127

訓点資料の構造化記述 成果報告書

高田 智和 小助川 貞次 編

平成 25 年 3 月

目次

第1部 総説

A CONCEPTUAL STRUCTURE FOR AN HISTORICAL OUTLINE OF <i>KANBUN KUNDOKU</i> (Kosukegawa Teiji)	3
--	---

第2部 訓点資料研究とICT

古典籍とJIS漢字についての再考察—何が変わったか、変わらないでいるか— (當山日出夫)	23
韓国口訣資料の電子的構造化 (朴鎮浩)	35
訓点資料構造化の試み (高田智和, 田島孝治)	55
整数座標によるヲコト点の記述 (高田智和, 田島孝治, 堤智昭)	71
ヲコト点図入力ツール (堤智昭)	79
ヲコト点の移点ツール (田島孝治)	87

第3部 訓点資料研究の継承と発展

NINJAL セミナー「漢文訓読再発見」記録

講演1 漢文訓読を学ぶということ (渡辺さゆり)	97
講演2 他言語を自言語で読むこと: 「訓読」の普遍性について (ジョン・ホイットマン)	107
パネルディスカッション「漢文訓読再発見」 (渡辺さゆり, ジョン・ホイットマン, ヴァレリオ・ルイージ・アルベリッツィ, 朴鎮浩, 唐煒, 當山日出夫, 小助川貞次, 高田智和)	125

韓国ソウルにおける「漢文訓読研究会」の活動 (2006年6月～) について

(呉美寧)	143
-------------	-----

第1部 総説

第2部 訓点資料研究とICT

第3部 訓点資料研究の継承と発展

執筆者一覧

小助川貞次（富山大学教授）

當山日出夫（立命館大学客員研究員）

朴鎮浩（韓国・ソウル大学校助教授）

高田智和（国立国語研究所准教授）

田島孝治（岐阜工業高等専門学校助教）

堤智昭（東京農工大学工学府博士後期課程学生）

渡辺さゆり（札幌大学教授）

ジョン・ホイットマン（国立国語研究所教授）

アルベリッツィ・ヴァレリオ・ルイジ（早稲田大学准教授）

唐煒（北海学園大学非常勤講師）

呉美寧（韓国・崇実大学校副教授）

国立国語研究所共同研究報告 12-08

訓点資料の構造化記述 成果報告書

平成 25 年 3 月 29 日

編者 高田智和 小助川貞次

発行者 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所

〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2

電話 042-540-4300（代表）

<http://www.ninjal.ac.jp/>

©国立国語研究所

ISBN 978-4-906055-28-9

ISSN 2185-0127

NINJAL Collaborative Research Project Reports 12-08

Structured Description of Kuntan-Shiryō

(Documents Written in Chinese with Marks
for Rendering into Japanese)

Tomokazu Takada and Teiji Kosukegawa (eds.)

March 2013

NATIONAL INSTITUTE FOR JAPANESE LANGUAGE AND LINGUISTICS